



越中福岡 の 菅笠製作技術 保存会通信

— 国の重要無形民俗文化財指定 —

2015年7月 No.19

【発行】越中福岡の菅笠製作技術保存会

〒939-0192 高岡市福岡町大滝12
福岡総合行政センター 地域振興課内
TEL.0766-64-5333 FAX.0766-64-5344

ご挨拶

越中福岡の菅笠製作技術保存会
会長 城山 孝

此の度の総会で、会員各位のご推薦を受け、会長の重責を引き受けることになりました。菅に携わって日の浅い私ではありますが、皆様のご協力のもと、進めて参る所存であり、よろしくお願い致します。

伝統産業と言いながらも、現在高齢者が担い手であり、後継者育成が大きな課題であります。皆様と共に、意欲のある

人を育て、若い人にもこの産業の魅力を感じてもらい、地域の伝統を守り育てていくために、皆様の更なる御協力をお願い申し上げます。



復活！菅笠展覧会・コンテスト



約25年ぶりの復活となる「菅笠の展覧会・コンテスト」が、3月27日(金)～29日(日)にふくおか総合文化センター・エントランスで行われました。

展覧会では、笠縫い職人製作による角笠・富士笠合わせて77点と、研修生の作品10点が展示されました。コンテストでは県内外から、菅笠7点・アイデア菅笠2点・デザイン画19点・スゲ細工156点の応募があり、笠の部・最優秀賞に越後喜代さんの「一文字笠」、アイデア作品の部・最優秀賞に橋本レイ子さんの「兜」が表彰されました。

最終日には国立文化財機構 東京文化財研究所の今石みぎわ氏を講師に迎え、記念講演会「菅笠は福岡町の宝」と題して、国の重要無形民俗文化財である越中福岡の菅笠製作技術の素晴らしさについてお話しされました。

展覧会に訪れた40代男性は、「菅笠が一堂に展示されているのを初めてみた。美しい手作りの技に感動した」と菅笠に見入っていました。

期間中は、城山ミキさん・越後喜代さん・荒山睦子さん・桜栄美西里さん・松平カヅミさん・橋本レイ子さんによる笠縫い実演も行われ、約600名の来場者がありました。たくさんのご応募、ご来場本当にありがとうございました。



笠縫い後継者育成講座

昨年12月～翌年3月まで（木金コース、土日コース共に全8回）、笠縫い後継者育成講座が福岡庁舎で行われ、計26名の受講者が参加し、城山ミキさん・越後喜代さん・中島栄子さん・松平カヅミさん・橋本レイ子さん・松本昭子さんが丁寧に、笠縫いの工程を基礎から教え、受講者のペースに合わせて確実に技術を習得してもらいました。毎回30分間、日和祐樹さんによる菅笠の由来や歴史・用途などについての講義も行われ、菅笠についてより深く学ぶことが出来ました。笠縫いは楽しい！一から自分の力だけで笠を縫い上げたいから、自宅で練習します、と菅や笠縫い道具などを一式持ち帰る受講者が続出で、明るい兆しに事務局も感動です。



受講最終日には笠骨職人の木村昭二前会長から受講修了証が手渡されました。

今年度も引き続き後継者育成講座を行っております。見学や受講も可能です。事務局（64-5333）までお気軽にお問い合わせください。

保全対策委員会、市長に提言書提出



第4回保全対策委員会



高橋市長に提言書を提出

昨年10月29日（水）第4回越中福岡の保全対策委員会が行われました。4つのグループに分かれ「技の伝承、ブランド化・流通・販売、PR・広報」の各問題について、菅笠伝承の場や拠点づくりや菅笠の価値をより高める方法などを具体的に検討しました。

第5回委員会は3月3日（火）に行われ、「福岡の菅笠保全対策提言書（素案）」と、今後取り組む実行計画について確認しました。「熱意を正しく伝える。これがスタート！今日のエネルギーの輪を広げたい」と古池嘉和委員長（富山大学教授）が施策の実現に向けて熱く語りました。

3月25日（水）福岡庁舎にて、古池委員長と委員等から高橋正樹高岡市長に「提言書」が手交されました。提言を基に菅笠を次世代へつないでいき、地域と連携を図りながら越中福岡の菅笠製作技術を保存、伝承していきます。

笠骨づくり体験教室

昨年11月9日（日）と15日（土）に、「第5回笠骨づくり体験教室」が行われ、講師の中嶋尋行さんと鋤田芳次さんが、8名の受講生に竹を割り、削って曲げて一尺6寸の角笠の笠骨づくりを指導しました。

菅笠づくり全般に興味のある受講生は、12月から行われた笠縫い講座にも参加し、今回作成した笠骨を利用して菅笠を完成させました。



福岡小学校菅田、始動！



福岡小学校の菅田がいよいよ始動です！スゲ支援グループ「SUGET（スゲット）」や富山県高岡農林振興センターが、スゲを育てて親しんでもらうために同校に提案し、「学校菅田」の実現に至りました。

昨年10月5日（日）に行ったのは、小学4年生の児童約10名の有志によるスゲ苗植え。越中福岡スゲ生産組合の指導のもと、素足になって小学校そばの大野悦夫さんの休耕田（約330㎡）に約4千本のスゲを植えました。

始めは慣れない手つきの児童達も、すぐに植えるコツを覚えて「楽しい！」と笑顔。菅田応援団の富山大学「援農たっぐ」もボランティアとして参加し、あっという間に斜め45度に植えられたスゲが綺麗に並びました。

干支スゲ羊づくり教室

昨年12月13日(土)に毎年恒例の「干支スゲづくり教室」がロッジ山ぼうしで行われ、翌年干支の「羊」づくりを楽しみました。スゲ草でモコモコの羊を表現するのは難しい?!ということで、講師の松平カヅミさん・大道悦子さん・中川まき子さんと事務局が綿密な打ち合わせ。縁起の良い羊目指して試行錯誤の結果、

棒にスゲを巻き付けてスパイラル状にし、羊らしいモコモコ感を出すことに成功!教室当日は男女合わせて17名の受講者が参加し、可愛らしいモコモキの羊が完成しました。



試行錯誤した試作品



笠縫い実演

「雅音楽祭」

昨年10月19日(日)、総曲輪グランドプラザで「雅音楽祭」が行われ、特別公開として伊勢神宮式年遷宮に奉納された御神宝「菅御笠(すげのおんかさ)」の原寸大の笠骨展示と、笠骨製作者の城山孝さんによる説明、越後喜代さんと城山ミキさんによる笠縫い実演を行いました。



「ふくおか産業フェスティバル」

昨年11月3日(月・祝)、Uホールでふくおか産業フェスティバルが行われ、菅笠の展示・コースターづくり体験と桜栄美西里さん・荒山睦子さんによる

笠縫い実演を行い、菅笠の価値や実用性についてPRし、菅笠づくりに興味のある来場者は笠縫いを体験しました。

「エコまちイベント」

3月1日(日)、「ふくおかひなまつり(2/28-3/3)」のエコ



まちイベントが行われ、向井美智子さんと宮田絹子さんが笠縫い実演、松平カヅミさんがスゲ雛づくりの講師をし、菅笠をPRしました。スゲ雛づくりでは、使用済みペットボトルキャップを土台とし、菅笠づくりに不向きな細いスゲを、塗り箸の廃材に巻き付けて取り外し、らせん状にして雛人形を作って、環境保護をアピールしました。



スゲ苗植え

昨年10月7日(火)と17日(金)に、鳥倉試験田で越中福岡スゲ生産組合によるスゲの苗植えが行われました。ご協力ありがとうございました。



10/7 苗植えの様子

取材協力ありがとうございました!

◆昨年10月23日(木)
【取材】富山写真語「万華鏡」
【内容】菅苗植え
【場所】宮崎光子さん菅田
【協力】宮崎光子さん



◆1月9日(金)
【取材】北日本新聞・富山新聞
【内容】菅笠づくり最盛期
【場所】赤尾節子さん宅
【協力】赤尾節子さん・松平カヅミさん・山本百合子さん・橋本レイ子さん



◆1月17日(土)
【取材】テレビ朝日
【内容】伝統の技「菅笠」作りがピーク
【場所】鳥倉公民館
【協力】中島明さん・中島栄子さん・前田さん



◆1月19日(月)
【取材】朝日新聞・テレビ朝日
【内容】菅笠づくり最盛期
【場所】城山ミキさん宅
【協力】城山ミキさん・越後喜代さん

◆1月20日(火)
【取材】TBS
【内容】日本一周きわめびと名鑑
【場所】木村昭二さん工房



◆3月11日(水)
【取材】富山写真語「万華鏡」
【内容】笠縫い
【場所】赤尾節子さん宅



◆3月26日(木)
【取材】農業新聞
【内容】菅笠づくり
【場所】木村昭二さん工房・林すず子さん宅
【協力】木村昭二さん・林すず子さん・井淵桂子さん



★映画「獅子舞ボーイズ」(タカオカカンドリム社主催)の菅笠づくりの撮影にご協力下さった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

上向田で笠縫い体験

3月26日(木)、上向田公民館で「ふれあい交流会」が行われ、菅笠に関する勉強会と、上向田の笠縫い職人6名による体験指導がありました。これをきっかけに、笠縫い後継者の育成を目指します。



昨年10月4日(土)、雨が降る蒸し暑い中、高岡市二上まなび交流館で「第6回まなびっこフェスティバル」が行われ、当保存会では豆笠づくりとスゲコースターづくり体験を実施しました。

毎年順番待ちの行列が出来るほどの大人気で、今回は102名の親子が体験しました。

豆笠づくりを中島栄子さん・松本昭子さん・松平カツミさん・橋本レイ子さん・大道悦子さん、スゲコースターづくりを蔭浦陽子さんが丁寧に指導しました。豆笠づくりは40分程必要で根気がいりますが、出来上がると皆ニッコリ♪6歳の女の子がコースターの井桁編みを体験し、自分だけの力で仕上げていく姿に感動！私たちも参加して下さった皆さんの笑顔で元気いっぱいになりました。



保存会として、菅笠づくり職人や会員の皆様総勢55人が、マイ菅笠持参で撮影に参加!「かがやき」が通過する一瞬を狙い、菅笠を被って手や菅笠を振ったりして、おもてなしの気持ちを表現しました。撮影協力、ありがとうございました。

HP(富山県知事政策局)からYou Tubeにアクセスできます。皆様、是非ご視聴ください!
<http://www.toyama-shinkansen.jp/>

福岡高校「菅笠に関する郷土史学習」

福岡高校で2年生72名を対象とする、菅笠に関する郷土史学習が行われました。一回目の9月12日(金)は、文化庁伝統文化課文化財調査官の石垣悟氏が講師として「福岡町の菅と菅笠」について説明しました。二回目の10月28日(火)は、「菅笠の製作技術を学ぶ」をテーマに、笠骨工程を中嶋尋之さん、笠縫い工程を宮崎光子さん・宮崎和子さん・城山ミキさん・越後喜代さんが、伝統の技の実演と体験指導を行いました。生徒らは、菅を触るのは初めてで扱いが難しかった、菅笠づくりは楽しい、と笑顔で話していました。



まなびっこフェスティバル



伝統的工芸品産業大賞 作り手部門 準グランプリ



南すめさんが、「平成26年度伝統的工芸品産業大賞」の「作り手部門 準グランプリ」を受賞しました。

授賞式は11月7日(金)にイオン高岡南店のホールで行われ、同会場では「第37回富山県伝統的工芸品展」(11/7-9)も開催し、富山県指定伝統工芸品の菅笠の展示が行われました。南さん、受賞おめでとうございます!

- ★南すめさん…平成8年、高岡地区広域圏「ふるさと名人」に認定
- ★伝統的工芸品産業大賞…伝統産業の振興や活性化に功績のあった人を表彰

ようこそ新高岡駅へ!

とても寒い2月3日(火)、カーマ高岡駅南店の屋上で、北陸新幹線に対する喜びや、お客様への歓迎の気持ちを表す、「待ってたよ北陸新幹線 富山県 Ver.」の動画(You Tube)撮影がありました。当



1人1客・1人1乗車運動

北陸新幹線 新高岡駅停車の臨時「かがやき」が9月まで継続運行します。今後の増便や定期化に向けて「かがやき」の利用と、呼びかけをお願いいたします。

